



創作実験劇場

2014年3月1日(土) 東灘区民センター うはらホール

作舞 藤田佳代 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 平岡愛理 田中文菜 稲益夢子 菊原麻衣花
出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 石井麻子 板垣祐三子 梁河茜 平岡愛理 重友理帆 田中文菜
稲益夢子 菊原麻衣花 木村はな 林佑季奈 ハーバート真唯 渡辺菜子 原田光琉 清水紗弥香 藤井花名 門家由采
大井遙 坂本のより 中江優来 石澤佑唯 岡村春花 福本莉菜 山根凜
音楽 木村ハルヨ(二胡演奏 夜明けまでの子守唄) 大槻祐希未(津軽三味線演奏 Sun Power) 天満彩乃(ピアノ演奏 Sun Power)

～作舞者によるコメント～

PORTRAIT

何十年ぶりに幼なじみに会ったことがきっかけで、「PORTRAIT」を創ってみようと思いました。久しぶりに会った幼なじみは、ずいぶん年月がたっているのに全く変わっていませんでした。にもかかわらず。「こんな写真できてん」と見せてくれた写真には幼なじみとそのお母さんとわたしが写っていて、確かにわたしの記憶にある彼女のお母さんなのですが、いま目の前にいる幼なじみとそっくり。「これ娘」と見せてもらった別の写真には、たしかにお嬢さんなのでしょうが、私の記憶にある昔の幼なじみとそっくり。まじまじと彼女の顔をながめて、この子の顔にはこの子のものではない過去と未来が同居しているんだなあ、と思いました。でも考えてみれば、親だから子だからというのではなく、一人の人には過去からの本当に多くのものが存在していて、そしてとにかく生きていることでそれが未来へと受け継がれていく・・・人が生きているってなんとすごいことかと、思いを新たにしているところです。

菊本千永

今、ここに咲く花

どんなに辛いことや悲しいことがあっても、今ここで美しく咲きたい。

灰谷留理子

Hamming Bird

鳥は歌いながら空を飛ぶ。でも人は飛べない。チュンチュン、ピピピピ。待つて待つて！鳥を追いかけるも、踊るも、いつだってこの足。だったら飛べなくていい。私はまだこの足で生きているから…曲はギタリストの田中彬博さん。お会いした時、この曲はギター之音に合わせて鳥がチュンチュンと答えたことがきっかけと仰っていました。なんて素敵なこと！最後に、今回の作品は昨年の「桜・咲くころ」の続きと思い創りました。昨年の作品を観て下さった方もそうでない方も楽しんで頂けますように。

平岡愛理

夜明けまでの子守唄

震災から3年が経ち、子どもたちの心の傷がようやく表面化してきたと聞きました。今からが本格的なケアの必要な時期なのですね。困難を乗り越えて力強く生きてほしいと願いを込めて踊ります。今回、二胡の演奏家木村ハルヨさんの生演奏で踊らせていただきます。彼女とは2012、2013の2回南三陸町へのチャリティライブツアーに参加しました。今年5月にまた一緒に行ってきます。ここで彼女のプロフィールをご紹介します。

金沢景子

二胡 木村ハルヨ

神戸生まれ。本場中国で学んだ確かな技術を礎に、アーティスティックな感性を活かしたその自由な活動は”もはや木村ハルヨという新ジャンル”と評される。ロックバンドや朗読ユニットのメンバーとしても活躍、ラジオドラマや映画にも参加。年間100ステージを越える演奏活動を全国各地で行い、今もっとも革新的な日本人プロ二胡奏者として注目を集めている。

<http://www.kimuraharuyo.com>

言葉なき声が聞こえたら 何も聞こえない 何か聞こえる その声の傍らに

もし、家族や大切な人がいじめや虐待を受けていたら。私には気づくことができるのでしょうか。そして、彼らが日常や社会の流れに戻るにはどうすればいいのでしょうか。

2012年9月、ある事件が起きました。男子大学生が小6女子を誘拐し、タクシーでの逃走中、女の子はスポーツバックに詰められてそのトランク内に。タクシーの運転手さんが気がつき、女の子は救出されました。運転手さんは、TVのインタビューで、「言葉にも、声にもならない助けてという微かな声が聞こえた」と答えました。その日から私も言葉なき声が聞こえる人になりたい、と思いました。でも、その後は…。やはり、答えは見つかりません。せめて、その声の傍らに寄り添いたいと思うようになりました。

かじのり子

Sun Power

人は悩み事があったり、自分の壁にぶつかったことが一度はあると思います。震災の時、たくさんの人が傷ついたと思います。そんなときでも太陽は昇ります。私は太陽に不思議な力があると思います。「Sun Power」は、太陽に力をもらい、もう一度頑張ろうという思いを込めた作品です。三味線の大槻祐希未さん、ピアノの天満彩乃さんの力をおかりして、みなさんにも「Sun Power」が伝えられるように踊ります。

稲益夢子(中3)

昨年、私たちの作品「真夜中の人形」の記事が神戸新聞に掲載されたところに、津軽三味線の大槻祐希未さんの記事を見つけました。「同じ年頃のお姉さんが活躍されてすごい！この曲で踊りたい！」と思いお願いしました。また、この曲は大槻さん自身の作曲です。天満彩乃さんとはいつも一緒に踊っていますが、今回は素敵なピアノ演奏をしてくれるので、楽しみにしています。生演奏を二人だけで踊ることは初めてで、とても緊張していますが、頑張ります。

菊原麻衣花(中2)

夜明けの詩

アフリカで気球に乗った時のことです。

気球は、気流が安定している早朝に飛びます。起きたときは、スタッフと闇の区別がつかず、その手に持つランタンしか見えませんでした。サバナで準備を待つ間に、辺りが少しずつ黒とグレーに分かれていきました。そのうち、それが何なのかは判然としませんが、ザワザワ、ワシャワシャと何か動きはじめ、騒々しくなってきたとき、空に赤い色が現れました。「あっ、夜明けだ」ふと見ると、木の枝の上に、私と同じように明ける方を見ているものがあります。猿たちでした。騒々しいまでの間から立ち現れるまでの時間と静まった日の射す瞬間。これを表したいと思っています。夜はきっと明けると信じて、踊ります。

寺井美津子

Progress

今回、初めて作品を作らせていただきました。私は受験のたびに大きな壁にぶつかってきました。たくさん悩み、挫折を経験してきました(自分の努力が足りなかったからだと確信していますが…)。そのたびに、母や周りの方々にいっぱい迷惑をかけてきたと思います。そんな私も今は夢に向かって勉強しています。'progress'という題は《前進》を意味しています。過去を振り返ることは多々ありますが、その過去をポイッと捨ててしまうのではなく、色々な経験をした過去を持ったまま、今を歩んでいくという思いを躍りにしました。佳代先生をはじめ先生方、先輩方に多くのアドバイスをいただきました。まだまだですが感謝の気持ちを込めて踊ります。実はこの文章を考えている今、後期試験開始前日で進級がかかっています(笑)。自分の夢に向かって'progress'《前進》していけるように、早速ですが、ひとつずつ山を越えていきたいです。

田中文菜

HANANA/再生の花

花菜—菜の花の別名 土壌のCs(セシウム)137とSr(ストロンチウム)90という放射能を出す物質を吸い上げて咲く

小さな黄色い花がこの地を再生へと導くのもかもしれない。チェルノブイリ原発のナロジチ地区では ナロジチ再生・菜の花プロジェクト という菜の花の特性を利用した土壌浄化プロジェクトがある。いま 福島^{ほし}の地も一刻も早く浄化しなければならぬ。(しかし 残念ながら日本の土壌はカリウム値が高く セシウム ストロンチウムを吸い上げるまでならず このプロジェクトには至らないらしい。)

HANANA—この地球の再生のために 強く 咲く 花菜。

福島の大地は今どうなっているのでしょうか。

向井華奈子

メッセージ 福島の土の神よ たちあがれ

2011・3・11の原発事故以来ジワジワと、大地の深部へ、汚染が染み込んでいっているのではないのでしょうか。この踊りは「福島の大地の神さま、どうぞ立ち上がってください」との祈りの踊りです。地震と津波は自然から受けた災害です。原子力発電所の事故は人間が起こした地球への災害だと考えています。六甲山のヤマノカバ^か福島へ使者を送ります。死んだように横たわっている福島の大地の神さまを見つけ、草や木に後を託します。草や木のおかげで神さまは立ち上がりますがやはり力不足です。ここでみなさまをお願いします。舞台上のダンサー(草や木)といっしょに拍手の力を送っていただけませんか。詳細は当日お知らせします。人間として深く首をたれるものです。

藤田佳代

終わりました！！ありがとうございました。

金沢景子モダンダンスステージⅣ 2013年11月30日(土) 灘区民ホール

振付 金沢景子 藤田佳代(探す)

作曲 演奏 居倉健(CARAVAN)

鼓動鳴り止んでも 花筏 CARAVAN しゃぼん玉はどこ? ガラスの器 探す

出演 寺井美津子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 石井麻子 板垣祐三子 灰谷留理子 梁河茜 平岡愛理 本田詠理奈 重友理帆 田中文菜

稲益夢子 菊原麻衣花 末吉花林 菊原麻理奈 渡辺菜子 原田光琉 金沢景子

お陰様で無事に終演することができました。誠にありがとうございました。本番前リハーサル前半、太もも裏から、”ボキッ!”という音が聞こえたとたん脚が思うように動かなくなりました。すぐに出演者のお母様達に氷を用意していただいたり、開演30分前にPT先生にテーピングしていただき開演。舞台下でのスタンバイ。背中にお客様の視線。どうか最後まで踊らせてくださいと祈るのみでした。

そんな状態でしたが、自分なりのベストを尽せたこと、最後まで踊りきることができたことは、今思うと奇跡です。踊りの神様に感謝します。大腿二頭筋挫傷は完治までまだ暫くかかりますが、”鼓動鳴り止んでも”踊っていたと思うほど踊りが好きな私です。ご心配おかけしましたが、しっかり治して今後も精進いたします。観に来て下さった方々、後援会の皆様、スタッフの皆様、佳代先生、ダンサーの皆様、ここに繋がるすべての事柄に心からお礼を申し上げます。

金沢景子

加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸2014 2014年1月12日(日) デザイン・クリエイティブセンター神戸KII+0:

届ける～東北の地震と津波と原発事故で亡くなった数限りない命たちへ～

振付 藤田佳代

出演 寺井美津子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 石井麻子 板垣祐三子 灰谷留理子 稲益夢子 菊原麻衣花 三木涼音 末吉花林

天満彩乃 原田光琉 菊原麻理奈 渡辺菜子 松岡椿 清水紗弥香 門家由采 坂本のより 中江優来 大井遥

梁河茜 平岡愛理 山田麻以 重友理帆 本田詠理奈 田中文菜

拍踏衆 MOTOKI 金沢景子 菊本壮永 菊原敬 衣川佳子 坂本武士 橋本慧 福本太一 細田文明 松山元浩 梁河奉照

宮城生まれの画家、加川広重さんが自身も被災した東日本大震災からインスピレーションを得て描かれた、「雪に包まれる被災地」を背景に、「南三陸の黄金」を目の前に仰ぎみて真摯な思いで「届ける」を踊らせていただきました。どちらも、5.4m×16.4mという巨大絵画です。このイベントは1月5日から17日まで行われました。案内のチラシには「この加川広重の巨大絵画を、同じ被災地である東北と神戸で展示することにより、神戸市民をはじめ、震災を体験した人がまざまざと当時の記憶を呼び起こし、またこの作品に出会うことでより多くの人々が、今、被災地で困難な状況にある人々への思いを共有できる場をつくっていかうとするものです。」とありました。加川広重さんの巨大絵画は三部作で、現在三作目を制作中です。福島^{ほし}の原発が描かれているというその絵は、八月に仙台で公開されるそうです。

あと書きにかえて 極限にある人に対して踊りは無力だといつも感じます。でも、その人が極限から一歩踏み出そうとするとときに、踊りは何が出来るような気がしています。いえ、何が出来る踊りであってほしいと願います。まったくの微力であったとしても。

菊本千永